h1: ドキュメントの標題

ノン・コーダーのための、Marpスライド サンプル集

2022-mm-dd AAAAAAA Inc.

このページは <!-- _class: gaia lead -->

代表的なスライド例



目次

- 時間割・資料一覧
- 開校式
- ステップ2 | 重要度の評価
- ステップ3 | シナリオ群の定義
- ステップ4 | 事業インパクト評価
- ステップ5 | 対応策の定義
- ステップ0 | シナリオ分析をはじめるにあたって
- 閉校式
- 付録
- ※印刷配布は抜粋版です 資料全体は共有フォルダに格納いたします

グランドルール

Don'ts - これはやめてください

- 短時間集中型で行いますので、メールや電話、内職はご遠慮ください
- やむを得ず受電・架電される場合、室外でお願いします







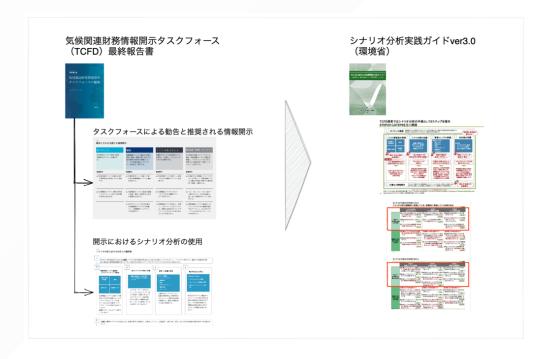
Dos - これはOKです

- 質問は随時OK
- あめ、ガム、飲み物などの軽食はOK
- 写真撮影は随時OK

レクチャー01 シナリオ分析と気候関連財務情報開示

まずTCFD提言があり、その参考書(実践ガイド)を環境省が発行

TCFDは提言で「情報開示とそのためのシナリオ分析」を求めている。しかし 簡単ではないので、環境省が具体的な手順を発行



出所: TCFD, 最終報告書 気候関連財務情報開示タスクフォースの勧告(2017) 環境省, TCFDを活用した経営戦略立案のススメ(2021)

演習06 4℃/2℃@2050の定性的な予測(前半)

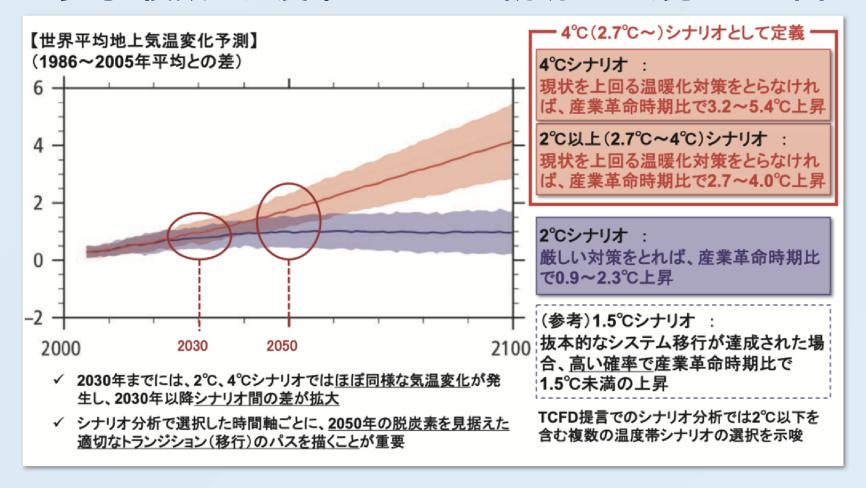
アウトプットイメージ

中分類	小分類	現在	4℃ (2050年)	2℃ (2050年)	出所
xxxx	xxxx	xxxxxxxxxxx	xxxxxxxxxxx	xxxxxxxxxxx	xxxxxx
xxxx	xxxx	xxxxxxxxxxx	xxxxxxxxxxx	xxxxxxxxxxx	xxxxxx
xxxx	xxxx	xxxxxxxxxx	xxxxxxxxxx	xxxxxxxxxx	xxxxxx

ワーク(40分)

- 1. 小分類の右側に、 現在 4℃ 2℃ 出所 欄を作成ください
- 2. 小分類単位で調査担当を決めてください(各人1項目) \rightarrow レクチャー07をはさみます
- 3. 現在 および2050年(4℃ / 2℃)がどうなっているかと 出所 を記入ください

ご参考:複数の温度帯シナリオの説明でよく見かける図



出所:環境省, TCFDを活用した経営戦略立案のススメ (2021)

サンプルコード集

h2: ドキュメントの中表紙

標題は、見出しレベル1で、 中表紙は、見出しレベル2で、 各スライドのタイトルは、見出しレベル3で 表現することを想定しています

このページは <!-- _class: inside-title lead -->

h3: スライドのタイトル

code: スライドのキーメッセージ→ひと通りワンスライドに盛り込んでみた

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ

・ 箇条書き1、イタリックは赤字にならない、強調箇所は赤字になる・ 小項目1、 pre: カギカッコで括る代わりに利用 (*1)

*1 footnote: 注釈を書くために利用

	列A(左寄せ)	列B(センタリング)	列C(右寄せ)
行1	xxxxxxxxx	xxxxxxxxx	xxxxxxxxx
行2	xxxxxxxxx	xxxxxxxxx	xxxxxxxxx

> blockquote。補足コメントや覚え書きとして利用

出所:著者1・著者2,書籍タイトル (yyyy), 出版社

h3: 見出しレベル3

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市。

h4: 見出しレベル4

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市。

h5: 見出しレベル5

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市。

h6: 見出しレベル6

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市。

画像挿入の標準パターン

キーメッセージがここにある想定

補足テキストがここにある想定



画像挿入の別のパターン

背景に画像を貼ることもできます

- 左右分割、上下分割など、様々なレイアウトパターンがあります
- 画像に対してフィルタをかけることもできます
- 詳しくは公式ドキュメントをご参照ください
 - https://marpit.marp.app/image-syntax

出所の表記

出所の表記を統一したく、`<cite>`タグを追加しました

書く内容は、 Author, Title (year), Publisher の並びを想定しています

出所:著者1・著者2,書籍タイトル (yyyy),出版社

出所:ウェブサイトのタイトル,

https://www.aaaaa.jp/bbbbbbbbbbbbbbcccccccccc/ddddddddd

【参考】スライド

参考スライドを挿入できると、実用的にはけっこう嬉しいです

本筋から少し脇にそれてしまうけれども、Appendixまで先送りせずに、本編の脇あたりに配置しておきたいスライドというのがあります。

- ・ 箇条書き1、イタリックは赤字にならない、強調箇所は赤字になる・ 小項目1、 pre: カギカッコで括る代わりに利用 (*1)
- *1 footnote: 注釈を書くために利用

	列A(左寄せ)	列B(センタリング)	列C(右寄せ)
行1	xxxxxxxxx	xxxxxxxxx	xxxxxxxxx
行2	xxxxxxxxx	xxxxxxxxx	xxxxxxxxx

> このページは <!-- _class: FYR --> です

END